



2010～2011 年度 RI 会長
Ray Klinginsmith



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1109 / 2010. 10. 01

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「原点に帰ろう 友情と絆 行動する赤坂ロータリークラブ」

2010～2011年度 東京赤坂ロータリークラブテーマ/吉岡琢磨会長

●本日の例会/2010 年 10 月 1 日 第 1134 回例会

卓話： 金澤ガバナー補佐訪問

第 3 回クラブ協議会 13:10～14:30

「長期計画について」

※ 会場：B1F「プリズム」

●前回報告/2010 年 9 月 24 日 第 1133 回例会

卓話： イニシエーションスピーチ

共益アセットマネジメント株式会社

取締役 山口 龍郎 君 (当クラブ会員)



卓話紹介：石井会員

幹事報告：(橋本年男)

①次週 10 月 1 日例会場は、37F「アリエス」から「オーロラ」へ変更となりました。

②10 月 1 日理事会は、例会前 11 時～12 時となります。理事会会議室は、B1F「プリズム」です。

③本日の週報に掲載の公山城 RC 黄会長メッセージは、ただいま日本語を勉強中の黄会長自身でお書きくださったメッセージでございます。黄会長は、東京赤坂ロータリークラブ週報に、メッセージや公山城 RC のことが掲載されるのを大変喜んでくださっております。



長期計画委員会：(大日方委員長)

今年度は長期計画を立てて実施することがクラブの重要なテーマとなっています。10 月 1 日 (金) のクラブ協議会のテーマは「長期計画について」です。クラブ協議会には全員参加で皆さんに意見を



述べていただきます。1 週間是非準備してクラブ協議会に参加してください。

慶事披露：誕生祝

村山公士君(9 月 2 日生) / 山口龍郎君(9 月 10 日)



吉岡会長(左) 村山会員(中央) 山口会員(右)

例会風景



吉岡会長

ソング担当：柴本会員



ニコニコ担当：長谷川会員

出席報告：会員 48 名 / 出席 28 名・欠席 20 名

ビジター：小谷達雄(京都 RC)、若井恒雄(東京 RC)、中沢忠義(東京 RC)、森本祐司(東京日本橋 RC)

計 4 名(順不同・敬称略)

山口龍郎君 (Yamaguchi Tatsuo)

2009 年 12 月 18 日入会

本日、東京赤坂ロータリークラブのイニシエーションスピーチをさせていただく事になりました、山口龍郎です。この様なイニシエーションスピーチをさせて頂ける機会を頂戴いたしまして誠に光栄に感じると共に、皆様方と赤坂ロータリークラブ様に深く感謝申し上げます。

私は昨年 12 月に入会をさせていただきまして、もう 9 ヶ月になろうとしております。例会になかなか出席することが出来ず欠席を重ねており、この場をお借りして深くお詫び申し上げます。毎週金曜日のお昼過ぎまで横浜みなとみらいの方で定例の会議がございまして、時間的にどうしても間に合わず、欠席を重ねさせていただいております。誠に申し訳ございません。

さて、頂戴いたしました「イニシエーションスピーチの手引き」によりまして、ここでは自身の職業内容、職業観、職業遂行におけるモットー等について自由闊達に述べることでございまして、また、入会挨拶を兼ねて自己紹介をする場であるともございまして、ここで簡単に私の経歴についてご紹介をさせていただきたく存じます。

ロータリークラブの諸先輩方を前にして大変緊張しておりますが、どうか宜しくお願い申し上げます。

私は、昭和 27 年 9 月 10 日に東京都大田区南千束 3 丁目で生まれ育ちました。近くには洗足池や八幡様や桜山がございまして今から考えると自然がとても良く残っていた良好な環境であったと思います。また、子供のころには洗足池には河童がでるから近寄るなど言われて育ちました。只単に、池に落ちると危ないぞと親は言っていたに過ぎないのですが、自分は本気で河童の存在を信じておりました。

小学校は地元の大田区立洗足池小学校に入学をいたしました。当時の自分は虚弱体質だったらしく、親が人生先行きを心配したため地元の中学校には進学せずに、中学受験をして昭和 40 年に慶應義塾普通部に入学いたしました。それ以後は昭和 43 年に慶應義塾高校に進学をして、さらに昭和 46 年に慶應義塾大学商学部に進学をし、一度も留年落第することなく昭和 50 年 3 月に無事に卒業をすることが出来ました。

慶應義塾の諸先輩方も多くいらっしゃるのですが、慶應義塾の場合には中学校から留年制度がございまして、自分が高校 3 年に進学したときにまだ普通部 3 年生（中学 3 年生）であった友人等もあり、大変驚いた事がございました。

一学年につき、年に 2 割程度が留年していたことを思い出します。でも不思議と大学卒業時に成績優秀で金時計を戴く学生には普通部出身者も多くいたことをお伝えして、名誉を挽回しておきたいと思います。大学 3 年生からは財務会計学のゼミ（山根先生）に入り

ました。会計学の知識は、社会に出て就職したときにとっても役立ちました。

昭和 50 年（1975 年）4 月に横浜銀行に入行いたしました。最初の勤務先は小田急線沿線に有ります南林間支店という小さな個人店舗でございました。ここで社会人最初の仕事として銀行預金や融資業務の基礎を勉強いたしました。しかしながら今から思えばとてもものんびりとしており、営業の先輩方には昼間から喫茶店や近所のゴルフ練習場に出かける等の気ままな勤務をしている方も見受けられ大変驚いた記憶がございまして。営業は所定のノルマを達成出来れば自由に時間を使っていた時代でした。勿論今はとてもそんな事は出来ないう。う。

最初の店に約 5 年間在籍をし、次に昭和 55 年（1980 年）8 月に東京の市ヶ谷支店開設準備委員として着任をいたしました。ここでは神奈川の田舎の支店とは全く環境が異なり、極めてドライにかつ効率良く仕事が進む事に感心をいたしました。横浜銀行としても東京中心部に店舗を開設することは大変な冒険であったと思いますが、集められた行員も良い経験が出来た事と思います。

市ヶ谷支店での営業成績が良かったためか（?）、ご褒美として、約 2 ヶ月間のアメリカ・ワシントン州シアトルにありますが州立ワシントン大学の大学院主催のサマースクールに参加をさせていただき、現地の大学寮で、短い期間ですが学生生活をいたしました。

横浜に戻りまして銀行融資部に融資トレーニーとして 6 ヶ月間の研修生生活を行い、昭和 58 年（1983 年）7 月に東京の新宿新都心支店（センチュリーハイアットが入居しているツインタワービル内）に転勤いたしました。この店は完全に法人融資店舗に特化した支店でして、法人融資について貴重な経験を積むことが出来ました。

昭和 61 年（1986 年）には川崎支店に転属となり、ここでも法人融資営業に特化した業務を行ってまいりました。横浜銀行にとりまして川崎支店は東京都内に古くからある上場大企業の融資窓口であり大型支店でございました。このころから所謂バブルがはじけ始め不良債権問題が芽生え始めて住専問題等が社会をにぎわす事となりました。川崎支店には約 6 年在籍いたしました。

平成の時代に移り変わり平成 3 年

（1991 年）には本店審査部に配属となり、不良債権問題に取り組む事となりました。これ以後、自分の業務には銀行を退職するまで、必ず不良債権問題が絡む事となりました。



融資2部、融資部と名前を変えながらも不良債権を担当するセクションから離れる事は無く、最後は、銀行子会社でありました浜銀ファイナンス㈱の代表取締役常務、さらには同じく銀行子会社であった横浜銀抵当証券㈱の代表取締役社長として広義の銀行業務に従事をして参りました。

現在は、同じく銀行の関連会社でありました共益地所㈱のマネジメントを行っております共益アセットマネジメント㈱に平成21年(2009年)4月に転籍をいたしまして現在に至っております。銀行は不動産業務を銀行法上で禁止されておまして、銀行の関連会社からの脱却を金融庁から迫られ、止む無くシティグループに株式を売却したことから、共益アセットマネジメント㈱を分離独立した形で業務を行っております。

横浜銀行員時代には長く本部の、しかも融資部関連、不良債権関連の企画業務に従事することが多かったこと、また所謂不良債権の証券化業務等に従事することがありました為、広く法律や会計についての知識を勉強する必要がありました。その為に社会人学生として勉強をすることを思い立ち、平成16年4月に明治学院大学経済学部で大学院で博士課程前期(修士)課程に入学をいたしました。そこでは当時の企業会計基準委員会の委員長でいらっしゃいました斉藤静樹教授に会計学のご指導をいただき、平成18年(2006年)3月に修士課程を修了いたしました。ここでは、所謂IFRSに準拠した会計制度における特別目的会社における基準のあり方について論文を纏めました。

平成18年(2006年)4月からは中央大学総合政策学部の後期博士課程に入学をして現在に至っております。現在は、マイクロファイナンスについての論文作成に取り掛かっておりますが、博士の学位を取得するのはなかなか容易ではなく苦戦をしております。学位取得ができればどちらかの大学で非常勤でも講師等を務めたいとは思っておりますが、どなたかお話があれば是非ご紹介をお願い申し上げます。

長らく自分の職歴についてご紹介をさせていただきました。融資業務に携わって感じたことは、当たり前ですが、極めてシンプルな世間の一般常識が融資審査に当たっての最大の武器であるという事でした。複雑な案件や問題は後日問題を起こす確率が極めて高く、また問題が起きたときに、その解決には極めて長期間かかることが多かった様に思います。また、何が世間の常識であるかは判断が難しいところではありますが、「銀行員の常識は世間の非常識である」、とも何度も言われたことを思い出します。銀行員自身だけの常識は極めて閉鎖された社会での常識であったことを考えますと、世間と幅広く交流する機会を積極的に作る重要性について、我ながら納得するところが御座います。

私の居た、一地方銀行でさえもそうであった事を考えると、所謂メガバンクの職員は更に深い問題を抱えているのかも知れません。日頃銀行と接触する機会も多いロータリーの皆様方から見れば少なからず嫌な経験を為されたこともあるでしょうが、お許しを願いたいと存じます。

最後に自分の趣味についてご紹介をさせていただきます。

一つはスポーツでございますが、スキーを30歳過ぎた頃から熱中いたしました。ちょうどサロモンスキーナウ等という番組が人気を集めていた頃で、「私をスキーに連れて行って」などというホイチョイクラブの映画が大ヒットをする少し前ぐらいからです。

八方尾根にありますスキー学校に毎週のように通い、財団法人日本スキー連盟(SAJ)の技能検定2級から初めて1級、準指導員、指導員そしてB級検定員の資格等を平成11年に北海道朝里川スキー会場で取得いたしました。以降は神奈川県スキー連盟所属のスキークラブで正指導員(インストラクター)として後進のスキー指導にボランティアで行っております。当時は年間40日以上もスキーを履いていたこともありました。

虚弱体質である自分もタバコを止めてスキーを始めることにより体力的にも充実したことから健康な身体をどうにか確保することが出来るようになりました。あとオフシーズンのトレーニングとしてテニスクラブに加入して毎週継続して行っております。

また、自分は音楽を聴くことが好きで長らく趣味として参りました。学生時代には、虚弱体質であったこともあり、あまりスポーツには縁が無く、三田レコード鑑賞会という文科系の部に所属して専らクラシック音楽それもロマン派やバロックでバッハやショパンといった音楽を聴き漁っておりました。クラブ員は特権として当時の「レコードが3割引きで買える。」という殺し文句で入部したようなものでした。

当時は我ながら愚かなものでしたが、演奏家あてクイズのような物を仲間内で行い、曲の始まりで最初の



1 から 3 秒以内に名前を当てるような事に熱中した記憶がございます。

40歳を越した頃から、自分でも何か楽器を習いたいと思うようになりました。何か弦楽器を習いたいと思ったのですが、バイオリンでは手が大きすぎて難しそうだし、ピアノを始めても今からでは苦勞しそうだという事で、チェロを選んだいたしました。そうしたところ偶々、自宅のすぐ近くで芸大を卒業した方でチェロを教える人を紹介されたことから始めることとした次第です。

人生に偶然はないと言いますが、たまたま近くでチェロを教えてください先生が居なかったらこれまで続くことも無かったでしょうし、また先生が女性でなかったら続いていなかったかもしれません。

今日は、イニシエーションスピーチですが、あまりお話できるような事も多くなく、皆様には是非チェロの音をお聞きいただきたく曲目を用意してまいりました。伴奏は泉様にご無理をお願いして素人の自分にお付き合いをしていただけた事になりました。



曲目は、ベルナルド・ロンベルグ (Bernhard Romberg, 1767-1841) の作曲したチェロソナタ作品番号43、No.1 (Sonata in B♭ major, Opus 43, No.1 for Cello and Piano)の第一楽章です。

ロンベルグという作曲家は一般にはあまり有名ではありませんがチェロソナタの世界では結構有名な作曲家で作品も多く残した19世紀の作曲家です。少し長い曲ですので途中で間違えて挫折するかもしれませんが、ご愛嬌の一つとしてご容赦頂けます様お願い申し上げます。以上で私のイニシエーションスピーチを終わらせていただきます。ご清聴いただきまして誠に有難うございました。

以上



9月24日 / 10件 19,000円
本年度累計 345,000円

多額 寄付を有難うございました。(敬称略)
高須康有/山口さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしています。先週、遅めの夏休みで例会、失礼しました。村山公士/誕生祝ありがとうございます。年をとると気候の変化が一段と身にしみます。尾関武男/ようやく秋らしくなりました。ゴルフも良し、食事もおいしい季節です。土屋東一/長谷川さんニコニコご苦勞さまで。西澤民夫/本当にやっとな秋らしくなりましたね。山口さん楽しみにしています。長谷川さんご苦勞様です。橋本さん、ありがとうございました。清水寛/8月から9月をスキップして10月になったような陽気です。体に気を付けましょう。尾上寛/山口さんイニシエーションスピーチ大いに期待しています。庄司泰典/母の病気の為、本日は出席手続きのみで退席致します。来週の例会出席は微妙です。山口龍郎/今日はイニシエーションスピーチをやらせていただきます。大変緊張いたします。長谷川弘志/山口さん、イニシエーションスピーチ楽しみです。素晴らしいチェロの演奏をお聞かせください。

10月例会卓話、行事予定

1日(金) 第1134回例会

金澤ガバナー補佐訪問

第3回クラブ協議会 13:10~14:30

テーマ「長期計画について」

定例理事会 B1F「ルミナス」11:00~12:00

5日(火) 火曜会 18:30~20:30

ANA インターコンチネンタルホテル東京
36階「マンハッタンラウンジ」

8日(金) 休会

13日(水) ロータリー財団地区補助金委員会

ガバナー事務所 15:00~17:00

15日(金) 第1135回例会

卓話予定:「会員増強について」

2008~2009年度 RI 第2750地区ガバナー

2010~2011年度 会員委員会委員長

新藤 信之 氏 (東京立川こぶし RC)

22日(金) 第1136回例会

卓話予定: 米山奨学生 シェリニ ツマ仁氏

26日(火) 第4回グループ協議会 15:00~17:00

第一ホテル東京 4F「シクラメン」

29日(金) 第1137回例会 辰野ガバナー公式訪問

卓話予定:「ガバナー公式訪問にちなんで」

RI 第2750地区 ガバナー

辰野 克彦 氏 (東京西 RC)

●次回予告/ 2010年10月15日 第1135回例会

卓話予定:「会員増強について」

2008~2009年度 RI 第2750地区 ガバナー

2010~2011年度 会員委員会委員長

新藤 信之 氏 (東京立川こぶし RC)

※ 次週10月8日(金)は休会です。